



平成 28 年 10 月 21 日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報担当

“人”が“生の言葉”で語り継ぐことを大切に

「くにたち原爆体験伝承者講話」定期開催

費用無料

申込不要

市では、被爆者の高齢化が進むなか、市内在住の被爆者の体験と平和への思いを受け継ぎ、幅広く伝えるための伝承者を育成することを目的として、平成 27 年 1 月から「くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト」を開始しました。

現在、市が認定した 19 名の伝承者が誕生し、中央図書館、公民館で定期的に講話を行っています。

ぜひ、貴媒体への告知および取材・掲載方、お願いいたします。

【なぜ“人”が“生の言葉”で伝承することが大切なのか】

戦争の悲劇を二度と繰り返さないための心髄は、語り継ぐ力です。語り部が魂を込めて語る言葉を、聞き手が魂で受け取り、またそれを次々に魂へと伝えていく、そうした生の言葉による魂の伝承が、平和を守る大きな力になると考えます。

伝承者は、長崎と広島それぞれのグループに分かれ、実際に被爆された方から語り継いだ体験を、皆さまにお話しします。

記

| 場所 | | 日程・内容 |
|-------------------------|---------|-----------------|
| 中央図書館 (国立市富士見台 2-34) | 2 階 集会室 | 11 月 6 日(日)・長崎 |
| | 2 階 お話室 | 12 月 4 日(日)・広島 |
| 公民館 (国立市中 1-15-1) | 3 階 集会室 | 11 月 26 日(土)・広島 |
| | | 12 月 10 日(土)・長崎 |

開催時間 いずれも午後 2 時～2 時 50 分

定員 各回 20 名(当日先着順) 直接会場にお越しください。

お問い合わせ

国立市政策経営部 市長室男女平等・人権・平和担当

TEL : 042-576-2111(内線 229・256)